空気より軽い12A、13Aガス用

TOKYO GAS

お客さま用

一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品
日本消防検定協会鑑定合格品

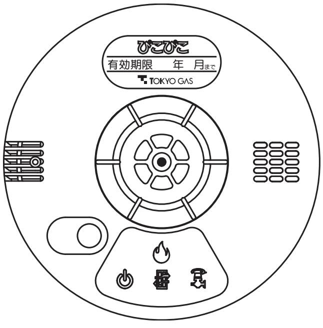
品名	YS-K803C-N

ぴこぴこ

形式名	YP-767A

(家庭用・業務用兼用)
住宅用火災・ガス・CO警報器

取扱説明書



本品をご採用いただきありがとうございます。

●お使いになる前に、この取扱説明書をぜひお読みください。

●取扱説明書は、取付け後も保証書とともにお手元に保管し、いつでも使用できるようにしておいてください。

●取扱説明書を紛失された場合は、販売店または最寄りの東京ガスにお問合せください。

●この警報器は、火災または不完全燃焼、ガスもれを未然に防ぐ装置ではありません。火災または不完全燃焼、ガスもれなどによる損害については責任を負いかねます。

この取扱説明書では本品を「警報器」、一酸化炭素を「CO」と表記しています。

もくじ

■警報器をご使用になる皆さま及び施工される方へ　頁

■ 1. 危険・警告・注意・表示等の基準　1

■ 2. 対象ガス及び仕様　2

■ 3. 各部の名称と働き　3

■ご使用になる皆さまへ

■ 4. 主な特長　5

■ 5. ご使用上の注意　7

■ 6. ご使用方法　10

■ 7. 警報ランプと音声警報音　11

■ 8. 火災警報ランプ〔赤ランプ〕が点滅している場合の処置　12

■ 9. 都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕またはCO警報ランプ〔黄ランプ〕が点滅している場合の処置　13

■10. 「ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください」と警報している場合の処置（火災警報ランプ〔赤ランプ〕点灯（フラッシュ））　14

■11. 「ピィーポォーピィーポォー 別の火災警報器が作動しました 確認してください」と警報している場合の処置（火災警報ランプ〔赤ランプ〕点滅）　15

■12. 「ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか」と警報している場合の処置(都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕点灯（フラッシュ))　16

■13. 「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と警報している場合の処置（CO警報ランプ〔黄ランプ〕点灯（フラッシュ））　18

■14. 「ピィーポォーピィーポォー 火事です 火事です」 と警報している場合の処置（火災警報ランプ〔赤ランプ〕とCO警報ランプ〔黄ランプ〕の同時点灯（フラッシュ））　20

■15. 交互に都市ガス警報とCO警報している場合の処置（都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕とCO警報ランプ〔黄ランプ〕の同時点灯（フラッシュ））　21

■16. 「ピィーポォーピィーポォー 火事です 火事です」と警報している場合の処置(警報ランプ 赤 赤 黄　の同時点灯（フラッシュ））　23

■17. 電源ランプ〔緑ランプ〕が速い点滅をしている場合の処置　24

■18. 警報器を取付けている部屋等で噴霧式殺虫剤を使用される時のお願い　25

■19. 警報時の外部機器の動作　28

■20. 警報器のお手入れ方法　29

■21. アフターサービス　30

もくじ

頁

■施工される方へ

■22. 施工される方へのお願い	31
■23. 取付位置の確認	32
■24. 取付方法	34
■25. 作動点検	38
■26. お客さまへのご説明内容	44
■27. お客さまへの周知事項	44

■ 1.危険・警告・注意・表示等の基準

警報器を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示をしており、その表示と意味は次のとおりです。本文をお読みになる前にご確認ください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
	一般的な禁止
	火気厳禁
	触れるな
	分解禁止
	必ず行う

■ 2.対象ガス及び仕様

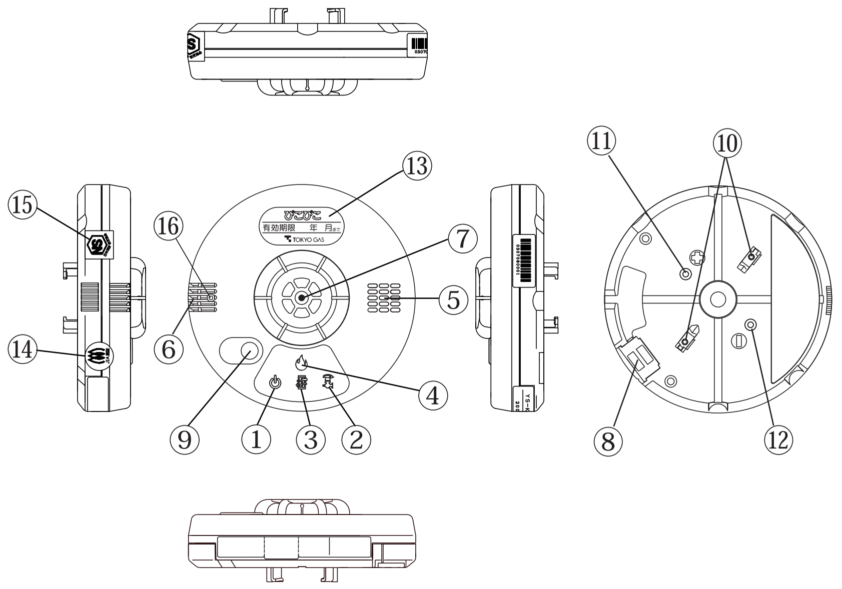
	項目	仕様	
火災警報機能	種別	定温式住宅用火災警報器・ガス漏れ警報器	
	鑑定型式番号	鑑住第17～20号	
	作動原理	熱検知式（サーミスタ方式）	
	作動温度	約65℃	
	火災連動入出力	監視時 DC30V以下　警報時 DC1.2V以下@100mA 出力遅延時間0秒	
ガスもれ・不完全燃焼警報機能	対象ガス	都市ガス （空気より軽い12A・13Aガス用）	不完全燃焼排気ガス中のCO
	警報ガス濃度	低濃度※爆発下限界濃度 の約1／100以上	低濃度　CO濃度 50～300ppm
		高濃度　爆発下限界濃度 の1／4以下	高濃度　CO濃度 550ppm以下
	検知原理	半導体式	
	警報方式	低濃度　赤ランプ点滅 （自動復帰式）	低濃度　黄ランプ点滅 約7分後危険と判断 し、音声合成音 （自動復帰式）
		高濃度　赤ランプ点灯 （フラッシュ） 音声合成音 （自動復帰式）	高濃度　黄ランプ点灯 （フラッシュ） 約2分後危険と判断 し、音声合成音 （自動復帰式）
	応答時間	60秒以内	低濃度　10分以内 高濃度　5分以内
	外部出力信号	監視時　DC6V　電源OFF時　0V　　故障時　0V	
		警報時　DC12V	警報時　DC18V
		発信標準遅延時間 0秒	
	付属回路	通電初期警報防止用約1分間タイマー付　スイッチ初期点検機能付	
共通仕様	警報音量	80dB／m以上	
	電源	AC100V　50／60Hz	
	消費電力	監視時　約0.7W　　警報時　約1.2W	
	使用温度範囲	0℃～+40℃（結露しないこと）	
	寸法・質量	φ120×36mm　約170g	
	取付方法	取付ベース(別売品) 回転引掛式	
	付属品	取扱説明書、保証書	
	ケース材質	PC樹脂（自己消火性）　ABS樹脂（自己消火性）	

※爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。
その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

⚠ 注意

●この警報器は都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス用）専用の警報器です。
●都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス用）供給区域外ではお使いにならないでください。

3.各部の名称と働き



①電源ランプ(緑)
・電源を入れてから約1分間、緑ランプが点滅します。
(警報器の安定時間)
・ 通常は緑ランプが点灯しています。

②都市ガス警報ランプ(赤)
・都市ガスを検知すると赤ランプが点滅します。
・都市ガス濃度が規定値以上になると、赤ランプが点灯(フラッシュ)します。
※点灯時は16ページを参照ください。

③CO警報ランプ(黄)
・COを検知すると、黄ランプが点滅します。
・CO濃度が規定値以上になると、黄ランプが点灯(フラッシュ)します。
※点灯時は18ページを参照ください。

④火災警報ランプ(赤)
・火災による熱が規定値以上になると、赤ランプが点灯(フラッシュ)します。
※点灯時は14ページを参照ください。
・異常温度検知すると、赤ランプが点滅します。
※点滅時は12ページを参照ください。
・連動している別の警報器から火災連動信号が入力されると赤ランプが点滅します。
※点滅時は、15ページを参照ください。

⑤警報スピーカー
・購入時は音声設定となっています。
(ブザー設定を希望される場合は、販売店または最寄りの東京ガスに申しでてください)
・都市ガス警報時には「ピッピッポッポッガスがもれていませんか」と警報します。
※ブザー設定した場合「ピッピッポッポッ」と警報します。
※詳細は16ページを参照ください。
・CO警報時には「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と警報します。
※ブザー設定した場合「ピッポッピッポッ」と警報します。
※詳細は18ページを参照ください。
・火災警報時には「ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください」と警報します。
※ブザー設定した場合「ピィーポォーピィーポォー」と警報します。
※詳細は14ページを参照ください。
・火災とCOの複合警報時には「ピィーポォーピィーポォー 火事です 火事です」と警報します。
※ブザー設定した場合「ピィーポォーピィーポォー」と警報します。
※詳細は20ページを参照ください。

⑥ガス検知部
(都市ガス・CO感知)

⑦火災検知部(熱感知)

⑧外部出力コネクターカバー

⑨点検/停止スイッチ
・スイッチを押すことにより、点検や警報停止、警報履歴の確認などができます。
※詳細は11、41～43ページを参照ください。

⑩電源端子

⑪都市ガス・CO警報外部出力端子 ⊕

⑫都市ガス・CO警報外部出力端子 ⊖

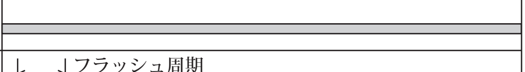
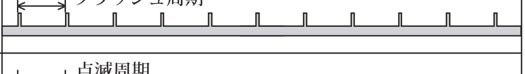
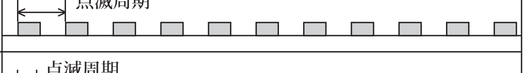
⑬有効期限シール

⑭検査合格証
・日本ガス機器検査協会の検査に合格したことを示します。

⑮鑑定合格証票
・日本消防検定協会の鑑定に合格したことを示します。

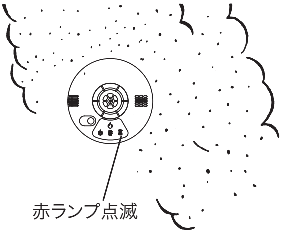
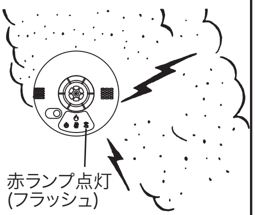
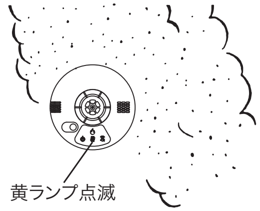
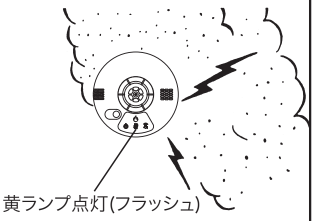
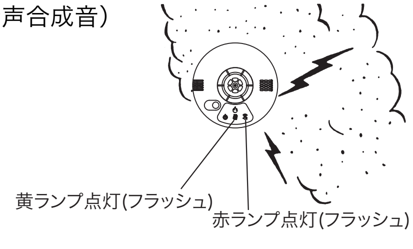
⑯ガス検知部点検口
・都市ガス・CO警報点検時にガス採取器によりガスライターまたはガスコンロから採取したガスを注入します。

－ランプのつきかたについて－
取扱説明書中のランプの点灯、点灯(フラッシュ)、点滅、速い点滅は次のように動作します。

点灯	連続して点灯	
点灯 (フラッシュ)	点灯中により明るく点灯 (0.5 秒周期)	
点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.5 秒周期)	
速い点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.2 秒周期)	

■ 4.主な特長

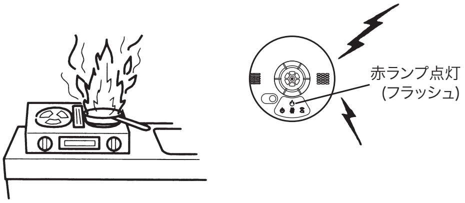
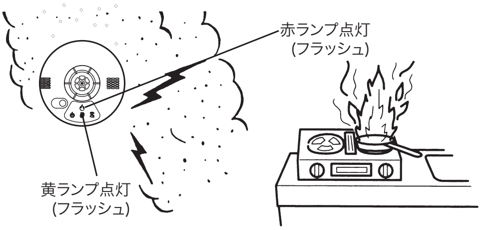
都市ガス・CO警報機能

●都市ガスがもれた場合 警報器周囲の都市ガス濃度が規定値以上になると、右のように2段階に分けて作動します。	低濃度（注意報） 赤ランプの点滅 	高濃度（警報） 赤ランプ点灯（フラッシュ）と都市ガス警報音「ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか」（音声合成音） 
●COが発生した場合 警報器周囲のCO濃度が規定値以上になると、2段階に分けて作動します。	低濃度（注意報） 黄ランプの点滅  CO濃度が低濃度の場合でも約7分間継続して検知した時は黄ランプ点滅のままで警報音にてお知らせします。	高濃度（警報） 黄ランプ点灯（フラッシュ）とCO警報音 「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」（音声合成音） 
●都市ガスがもれて同時にCOが発生した場合	赤ランプ及び黄ランプ点灯（フラッシュ）と交互に警報音 「ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか」 「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」（音声合成音） 	

都市ガス・CO警報連動機器との接続

●戸外ブザーや住宅情報盤あるいは集中監視盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、戸外ブザーや住宅情報盤は専用品(別売品)をご使用ください。
●マイコンメーターに接続しますと、警報した時、自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。ただし別売りの部品(警報器アダプター)が必要になります。
●無線連動システムでは警報すると送信機が電波を発信し、受信機が受信して自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。

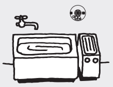
火災警報機能

●火災による熱が発生した場合 警報器周囲の温度が約65℃以上になると右のように作動します。	赤ランプ点灯（フラッシュ）と火災警報音「ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください」(音声合成音) 
●火災による熱と同時にCOが発生した場合	赤ランプ及び黄ランプ点灯（フラッシュ）と警報音「ピィーポォーピィーポォー 火事です 火事です」（音声合成音） 

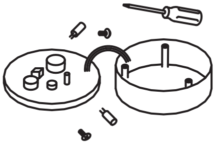
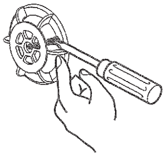
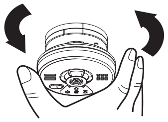
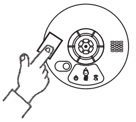
●別の部屋に設置された住宅用火災警報器と接続して相互連動することもできます。接続する場合は、販売店または最寄りの東京ガスにご相談ください。
●住宅情報盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、専用品（別売品）をご使用ください。

■ 5.ご使用上の注意

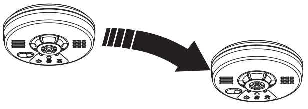
⚠ 危険

●浴室では使用できません。	禁止 

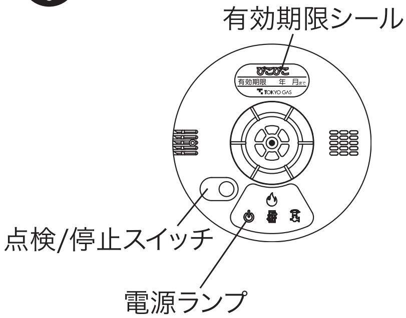
⚠ 警告

●警報器は絶対に分解や改造をしないでください。また、警報器を落下させたり衝撃を与えるような取扱いはしないでください。故障の原因となります。	分解禁止 
●火災検知部のガードの中にあるセンサーにはさわらないでください。火災を検知しなくなる恐れがあります。	禁止 
●警報器は常に通電されていることを確認し、取付ベースから警報器を取外さないでください。火災、ガスもれ、COが発生しても警報しません。	禁止 
●ガス検知部は絶対にふさがないでください。ガスもれまたはCOを検知しなくなります。	禁止 

⚠ 注意

●警報器は取付位置を移動させないでください。また、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。 警報器の位置を変える必要が生じた場合は、販売店または最寄りの東京ガスに依頼してください。	移動禁止 

⚠注意

●ぬれた手で警報器、取付ベースにさわらないでください。感電する恐れがあります。	ぬれた手でさわらない
●日常、電源ランプ(緑)が点灯していることをお確かめください。 ●警報器の有効期限を過ぎていないか、確認してください。警報器本体に有効期限シールが貼ってあります。有効期限はお取付けの5年後です。期限を過ぎたものは規定のガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがあります。 ●電源ランプ(緑)が早い点滅をしている場合は、故障をお知らせしています(24ページ参照)。早めに販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください。 ●有効期限を過ぎた場合、点検/停止スイッチを押すと「ピッ 取付け後5年経過しています」とお知らせします。	確かめる 

⚠注意

●この警報器は、お取付けいただいた場所近くでガスもれやCOが発生した場合には警報によりお知らせしますが、他の部屋などで発生したガスもれやCOでは警報しないことがあります。
●この警報器は熱を感知して警報するものです。火災の防止装置ではありません。
●警報器を取付けていない部屋は、火災の監視はできません。
●屋外用ではありませんので、屋外では使用できません。
●警報器の近くでラジオ等を使用されると、ノイズ(雑音)が増える場合があります。この場合は、警報器から少し距離を離してご使用ください。
●停電時は作動しません。また、はじめてお使いの場合や、停電後は電源を通じてから約1分間は作動しません。なお約1分後に赤ランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると緑ランプ点灯のみに変わります。
●警報器は多少温かくなりますが、異常ではありません(通電によりセンサー部を加熱して使用するため)。
●大鍋で湯を沸かす際、点火初期時にCOが発生し、CO警報する場合がありますので、換気扇を回して使用してください。

電源ランプ(緑)が消灯している場合の原因と処置

原　因	処　置
●停電 ●電源ブレーカーが切れている ●警報器の故障	●ブレーカーを入れる ●販売店に連絡する

火災・ガスもれ・不完全燃焼(CO)以外で警報する場合

お願い

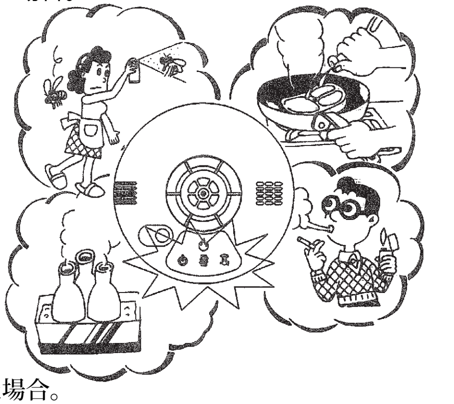
火災による熱の発生がなくても、次のような場合に警報することがありますが、警報器周辺の温度が下がれば警報は止まりますので警報器は取外さないでください。

●調理中の熱がこもった場合。

●エアコン等の空調機器の熱が直接警報器に当たった場合。

ガスもれや不完全燃焼のCOがなくても、次のような場合に警報することがありますが、しばらくすると警報は止まりますので警報器は取外さないでください。

●スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接警報器にかかった場合。
●濃厚なたばこの煙を警報器に吹きかけた場合。
●溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用した場合。
　また、アルコール類やくん煙式の殺虫剤が高濃度になった場合。
●警報器の電源電圧が通常の電圧範囲外の場合。
　通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。
●石油ストーブを点火した場合や、長時間換気せずに使用した場合。
●芳香剤・香油(アロマオイル)等の濃いガスがかかった場合。
●線香の濃い煙がかかった場合。
●フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用した場合。
●長時間部屋が閉め切られていた場合。
●焼き魚の煙等がかかった場合。
●お酒、みりんや酢等の調味料成分を含んだ蒸気が大量にかかった場合。
●湯沸器を使用中、換気が十分でなかった場合。
●ガスコンロの着火ミスがあった場合。
●自動車の排気ガスが室内にこもった場合。
●炭火や練炭を使用した場合。
●この他にも、可燃性の成分が作用した場合。



※ 長い間、閉め切られていたお部屋に設置されている場合、建材等から発生する成分等の作用により警報しやすくなることがあります。

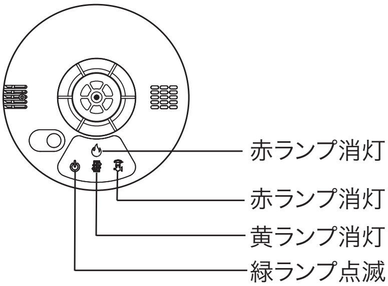
このような場合は、ドアや窓を開けて、しばらく換気を続けると、警報は止まります。
ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

6.ご使用方法

1. 警報器を取付ベース(別売品)に取り付けてください。

警報器の動作
緑ランプが点滅します。



⇩

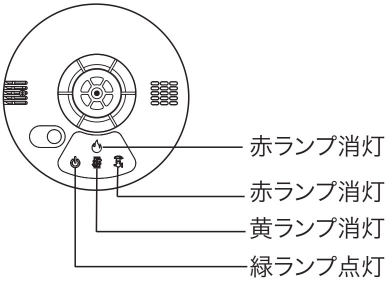
2. 約1分間お待ちください。

警報器の動作
約1分間は緑ランプが点滅しています。この間にガスがかかっても本体は作動しません。

⇩

約1分後に緑ランプが点灯し、監視状態に入ります。
緑ランプの速い点滅が止まらない場合は、警報器の故障が考えられますので販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください。

[赤ランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると消灯します。]



7.警報ランプと音声警報音

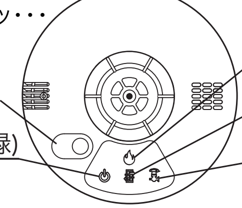
警報動作一覧

	警報状態			警報ランプ				警報音	警報の停止 点検/停止スイッチによる	頁
	火災	都市ガス	CO	A	B	C	D			
予備検知	○			○					—	12
		○			○				—	13
			○			○			—	13
単一検知	○			☼				ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください(自発)	可	14
	○			○				ピィーポォーピィーポォー 別の火災警報器が作動しました 確認してください(他発)	可	15
		○			☼			ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか ※1	可	16
			○			○		ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください ※2	可	13
						☼			不可	18
複合検知	○	○		☼	☼			ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください(火災警報優先)	可	14
	○		○	☼		○または☼		ピィーポォーピィーポォー 火事です 火事です	不可	20
		○	○		☼	☼		※1と※2を交互に発声	※1のみ可	21
	○	○	○	☼	☼	○または☼		ピィーポォーピィーポォー 火事です 火事です (火災警報優先)	不可	23
異常							○	ピピピッ 警報器故障です 販売店に連絡してください	可	24

※警報ランプの記号は、○は点滅 ☼は点灯(フラッシュ)を示します。

・警報ランプはそれぞれ独立して点滅または点灯(フラッシュ)します。
・異常時は電源ランプ(緑)が速く点滅します。
　詳細は24ページを参照ください。
・火災とCOもしくは火災と都市ガスを同時に検知した場合、警報音は
　火災警報を優先しています。
・火災警報とCO警報の複合検知時は、緊急度の高い警報音になります。
・ブザー設定の場合、以下のように警報します。

火　　災：ピィーポォーピィーポォー・・・
都市ガス：ピッピッポッポッ・・・
　CO　　ピッポッピッポッ・・・



■ 8.火災警報ランプ〔赤ランプ〕が点滅している場合の処置

⚠注意

●異常温度検知報機能は、火災検知を行う機能ではなく、室温の変化の異常を知らせる注意報です。

●次の処置をしてください。
●火災警報ランプ(赤ランプ)が点滅していたら、室内の異常を確認してください。

⚠危険

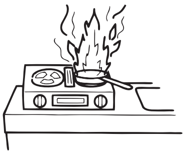
●消火が不可能なときは避難してください。

避難する

●火事の場合、次の処置をしてください。

1.火元を確認してください。

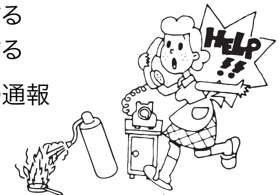
確認する



2. 必要な消火手段をとってください。

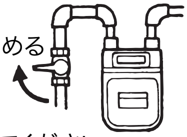
連絡する
消火する

●119番への通報
●初期消火



閉める

天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。



・ 外部機器と連動している場合、外部機器は作動しません。

9.都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕またはCO警報ランプ〔黄ランプ〕が点滅している場合の処置

●都市ガス警報ランプ(赤ランプ)が点滅している場合、都市ガス警報の予備検知を意味しています。
また、CO警報ランプ(黄ランプ)が点滅している場合、CO警報の予備検知を意味しています。
次の処置をしてください。

ドアや窓を開けて換気してください。
室内の空気が汚れた場合にも、
赤と黄のランプが点滅する場合があります。

開ける

・外部機器と連動している場合、外部機器は作動しません。
・黄ランプの点滅が約7分間継続すると、「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と警報します。
この時、点検/停止スイッチを押せば、約5分間警報が停止します。
5分間経過してもCO濃度が規定値以上であれば再び警報します。
再び警報した場合は、点検/停止スイッチを押しても警報は停止しません。
(ブザー設定時は、ピッポッピッポッ(連続)と警報します)

■10.「ピィーポォーピィーポォー　火災警報器が作動しました　確認してください」と警報している場合の処置(火災警報ランプ〔赤ランプ〕点灯(フラッシュ))

⚠危険

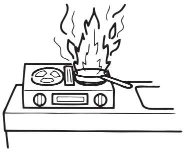
●消火が不可能なときは避難してください。

避難する

●火事の場合、次の処置をしてください。

1.火元を確認してください。

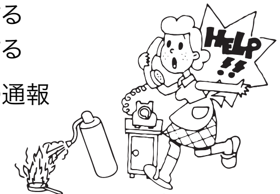
確認する



2. 必要な消火手段をとってください。

連絡する
消火する

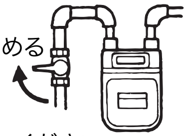
●119番への通報
●初期消火



閉める

ガスメーター

閉める



天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

※外部機器と連動している場合は、28ページを参照ください。

火災以外の熱で警報器が作動した場合の注意

●火災以外の熱などで火災警報している場合は、都市ガス警報ランプ(赤ランプ)の点灯(フラッシュ)、点滅の有無を確認してください。

確認する

●都市ガス警報ランプ(赤ランプ)が点灯(フラッシュ)または点滅している場合は、13、16、21、23ページの処置を行ってください。

処置する

- ブザー設定時は、ピィーポォーピィーポォー(連続)と警報します。
- 点検/停止スイッチを押せば約５分間警報が停止します。
  5分間経過しても周囲温度が規定値以上であれば再び警報します。
- 警報器周囲の温度が規定値以下になった場合、警報は止まり、赤ランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

■11.「ピィーポォーピィーポォー 別の火災警報器が作動しました 確認してください」と警報している場合の処置(火災警報ランプ〔赤ランプ〕点滅)

⚠危険

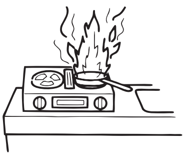
●消火が不可能なときは避難してください。

避難する

●火事の場合、次の処置をしてください。

1.別の部屋の火元を確認してください。

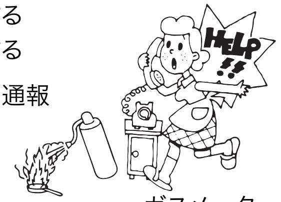
確認する



2. 必要な消火手段をとってください。

連絡する
消火する

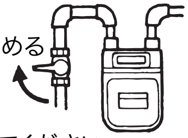
●119番への通報
●初期消火



閉める

ガスメーター

閉める



天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

※外部機器と連動している場合は、28ページを参照ください。

火災以外の熱で警報器が作動した場合の注意

●火災以外の熱などで火災警報している場合は、都市ガス警報ランプ(赤ランプ)の点灯(フラッシュ)、点滅の有無を確認してください。

確認する

●都市ガス警報ランプ(赤ランプ)が点灯(フラッシュ)または点滅している場合は、13、16、21、23ページの処置を行ってください。

処置する

・ 都市ガス警報またはCO警報と同時に別の火災警報器の火災警報が発生したときは、それぞれ交互に警報します。
・ ブザー設定時は、ピィーポォーピィーポォー(連続)と警報します。
・ 点検/停止スイッチを押せば約５分間警報が停止します。
5分間経過しても連動元警報器の周囲温度が規定値以上であれば再び警報します。
・ 連動元警報器が警報を停止すれば、警報は止まり、赤ランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

■12.「ピッピッポッポッ　ガスがもれていませんか」と警報している場合の処置(都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕点灯(フラッシュ))

部屋にいた場合で、警報したとき

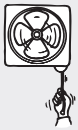
⚠危険　火花などによる爆発の恐れがあります。
警報している間は、次のことは絶対しないでください。

マッチやライターなど火気は使用しないでください。

火気禁止

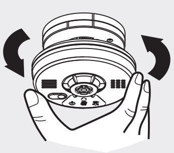
換気扇、電灯、蛍光灯その他の電気製品のスイッチを入れたり、切ったりしないでください。

禁止



警報器は取外さないでください。

禁止



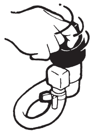
●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

2. ガス栓、器具栓を閉めてください。

閉める



3. 警報が停止しなければ、販売店または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

連絡する

●たびたび警報する場合は、ガス機器の点検を受けてください。

4. ガス濃度が規定値以下になれば警報は自動的に停止しますので、停止後にガスもれの原因を点検してください。

ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

調べる

・ 点検/停止スイッチを押せば、約5分間警報が停止します。
5分間経過してもガス濃度が規定値以上であれば再び警報します。
再び警報した場合は点検/停止スイッチを押しても警報は停止しません。

・ ブザー設定時は、ピッピッポッポッ(連続)と警報します。

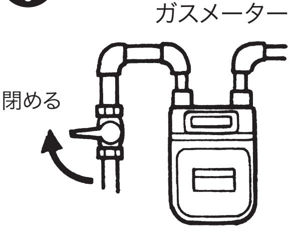
部屋にいなかった場合で、室内で警報しているのに気づいたとき

⚠危険

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアを開ける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報が停止してから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

すぐの入室禁止

●次の処置をしてください。

1. 部屋に入らずに、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気してください。	2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。	3. 警報が停止してから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。
外から開ける 	閉める 	閉める

※外部機器と連動している場合は、28ページを参照ください。

■13.「ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と警報している場合の処置(CO警報ランプ〔黄ランプ〕点灯(フラッシュ))

部屋にいた場合で、警報したとき

⚠危険

●警報していた場合、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。
●換気をせずにガス機器を使用しつづけると、CO濃度が上昇し短時間で生命が危険な状態になる恐れがあります。

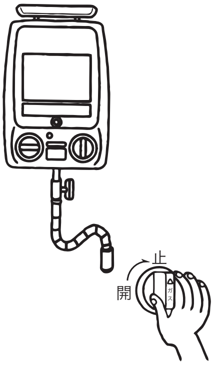
●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

2. ガス機器の使用を止めてください。

止める



3. 警報が停止しなければ、販売店または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

連絡する

●たびたび警報する場合は、ガス機器の点検を受けてください。
●ガス機器以外の燃焼機器が原因で警報する場合もありますのでこれらの機器も点検を受けてください。

・ CO警報ランプ(黄ランプ)が点灯(フラッシュ)している場合は、点検/停止スイッチを押しても警報は停止しません。
・ ブザー設定時は、ピッポッピッポッ(連続)と警報します。

部屋にいなかった場合で、室内で警報しているのに気づいたとき

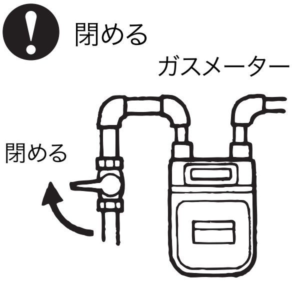
⚠危険

●CO濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓を開ける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報が停止してから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

●次の処置をしてください。

1. 部屋に入らずに、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気してください。

2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。



3. 警報が停止してから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

※外部機器と連動している場合は、28ページを参照ください。

■14.「ピィーポォーピィーポォー　火事です　火事です」と警報している場合の処置(火災警報ランプ〔赤ランプ〕とCO警報ランプ〔黄ランプ〕の同時点灯(フラッシュ))

⚠危険

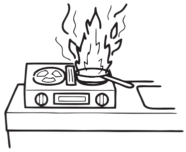
●消火が不可能なときは避難してください。

❗ 避難する

●火事の場合、次の処置をしてください。

1.火元を確認してください。

❗ 確認する



2. 必要な消火手段をとってください。

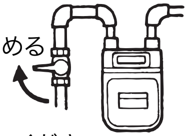
❗ 連絡する
消火する

●119番への通報
●初期消火

❗ 閉める

ガスメーター

閉める



天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

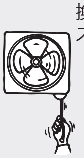
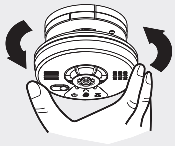
※外部機器と連動している場合は、28ページを参照ください。

- 火災警報している場合は、警報音は火災警報が優先されます。
  火災とCOを同時に検知した場合、緊急度の高い警報音になります。
- 火災警報とCO警報が同時に起こった場合、点検/停止スイッチを押しても警報は停止しません。
- ブザー設定時は、ピィーポォーピィーポォー(連続)と警報します。

■15.交互に都市ガス警報とCO警報している場合の処置(都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕とCO警報ランプ〔黄ランプ〕の同時点灯(フラッシュ))

部屋にいた場合で、警報したとき

⚠危険 火花などによる爆発またはCO中毒を起こす恐れがあります。
警報している間は、次のことは絶対にしないでください。

マッチやライターなど火気は使用しないでください。	換気扇、電灯、蛍光灯その他の電気製品のスイッチを入れたり切ったりしないでください。	警報器を取外さないでください。
火気禁止	禁止 換気扇のスイッチ等 	禁止 

●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

2. ガス機器の使用を止めてください。ガス栓、器具栓を閉めてください。

閉める

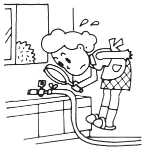
3. 警報が停止しなければ、販売店または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

連絡する

●たびたび警報する場合は、ガス機器の点検を受けてください。

4. もれたガスやCOガス濃度が規定値以下になれば警報は自動的に停止しますので、停止後に警報の原因を点検してください。ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

調べる



※外部機器と連動している場合は、28ページを参照ください。

- 都市ガス警報のみ、点検/停止スイッチを押せば、約５分間警報が停止します。
  (CO警報は停止しません)
  5分間経過してもガス濃度が規定値以上であれば再び警報します。
  再び警報した場合は点検/停止スイッチを押しても警報は停止しません。
- ブザー設定時は、ピッピッポッポッとピッポッピッポッを交互に警報します。

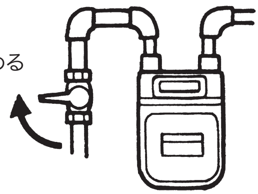
部屋にいなかった場合で、室内で警報しているのに気づいたとき

⚠危険

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合または、CO濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓を開ける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報が停止してから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

すぐの入室禁止

●次の処置をしてください。

1. 部屋に入らず、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気してください。	2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。	3. 警報が停止してから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。
外から開ける	閉める 	閉める

※外部機器と連動している場合は、28ページを参照ください。

■16.「ピィーポォーピィーポォー　火事です　火事です」と警報している場合の処置(警報ランプ 赤 赤 黄の同時点灯(フラッシュ))

⚠危険

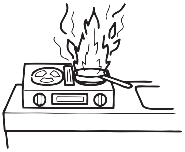
●消火が不可能なときは避難してください。

避難する

●火事の場合、次の処置をしてください。

1.火元を確認してください。

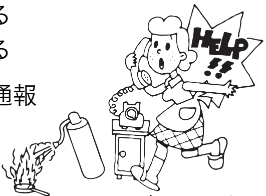
確認する



2. 必要な消火手段をとってください。

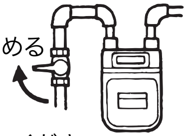
連絡する
消火する

●119番への通報
●初期消火



閉める

天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

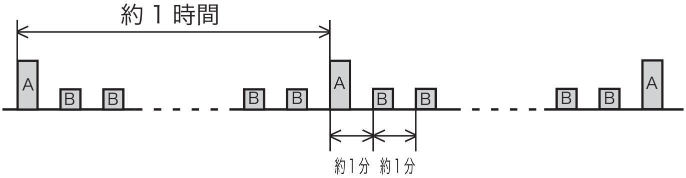


※外部機器と連動している場合は、28ページを参照ください。

・ 火災、CO、都市ガスを同時に検知した場合、警報音は火災警報が優先されます。
・ 火災警報、CO警報、都市ガス警報が同時に起こった場合、点検/停止スイッチを押しても警報は停止しません。
・ ブザー設定時は、ピィーポォーピィーポォー(連続)と警報します。

■17.電源ランプ〔緑ランプ〕が速い点滅をしている場合の処置

●電源ランプ(緑)が速い点滅を示し、1分毎に「ピピピッ」を1回、または1時間毎に「ピピピッ警報器故障です ピピピッ警報器故障です ピピピッ警報器故障です 販売店に連絡してください」とお知らせしている場合、次の処置をしてください。

緑ランプ	
警報音	 警報音A：「ピピピッ 警報器故障です ピピピッ 警報器故障です ピピピッ 警報器故障です 販売店に連絡してください 」 警報音B：「ピピピッ」

1. 点検/停止スイッチを約1秒間押してください。

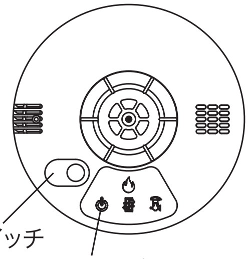
   以下のメッセージをお知らせした後、警報は停止します。
   『ピピピッ 警報器故障です 販売店に連絡してください』

   電源ランプ(緑)の速い点滅は継続しますが、再度点検/停止スイッチを押すと上記メッセージにてお知らせします。

   確認する

2. 早めに販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください。

   連絡する



■18.警報器を取付けている部屋等で噴霧式殺虫剤を使用される時のお願い

●警報器が噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報する場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器の作動を防ぐのに効果があります。

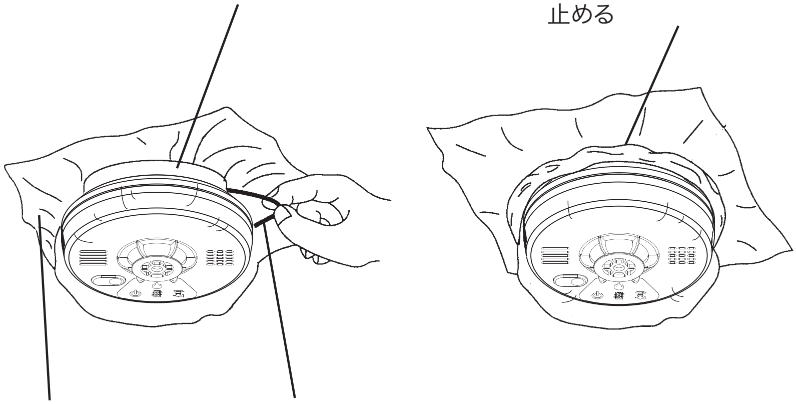
1. 天井面がペンキ塗装等の場合には、下記の手順で処置してください。

用意していただくもの

ポリ袋
- ポリプロピレン(PP または>PP<表示)が好ましいですが、ポリエチレンでも一定の効果があります。
- 大きさは、35cm×35cm程度が適当です。

輪ゴム6本

①ポリ袋を輪ゴムで警報器の取付ベース部分を止めてください。輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかりと止めてください。
②ポリ袋と天井の隙間から噴射ガスが侵入するのを防ぐため、輪ゴムで止めたポリ袋の上から取付ベースにそって、ポリ袋を1周巻きつけて、輪ゴム等(3本程度)で止めてください。
※ 粘着テープを剥がすことにより、天井面を傷める恐れのある場合。



2. 25ページ の方法で処置できない場合は、下記の手順で処置してください。

用意していただくもの

<u>ポリ袋</u>　・ポリプロピレン(PP または>PP<表示)が好ましいですが、ポリエチレンでも一定の効果があります。
・大きさは、35cm×35cm程度が適当です。

<u>輪ゴム3本</u>

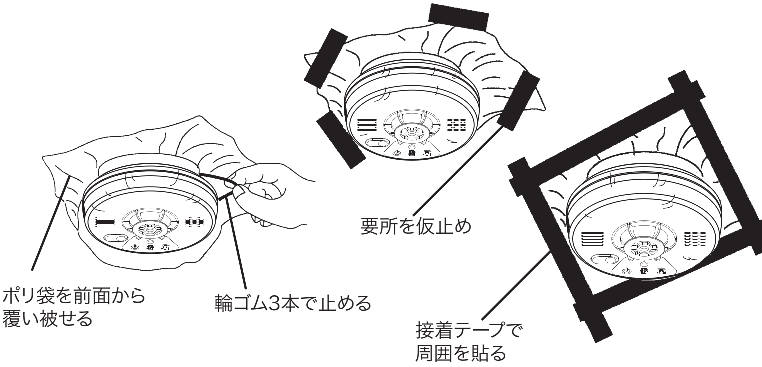
<u>接着テープ</u>　天井面の状況に応じた接着テープ

①ポリ袋を輪ゴムで警報器の取付ベース部分を止めてください。輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかりと止めてください。

②ポリ袋と天井の隙間から噴射ガスが侵入するのを防ぐため、ポリ袋の端を接着テープで天井面に貼付けてください。要所をテープで仮止めしてから、周囲を貼ってください。ただし、天井面等の状況により貼付けできない場合は輪ゴムで止めておくだけでも一定の効果はあります。

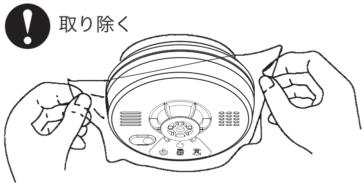
・ポリ袋がしわになっている部分に特に注意し、ポリ袋と壁面の間に隙間ができないようにしてください。

・接着テープは天井面の状況に応じて、接着しやすく、また剥がすときに天井面等を傷めないテープを使用してください。



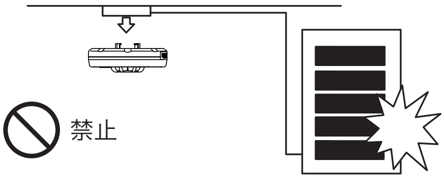
⚠警告

●噴霧が終わり、換気した後、忘れずにポリ袋を取り除いてください。



⚠警告

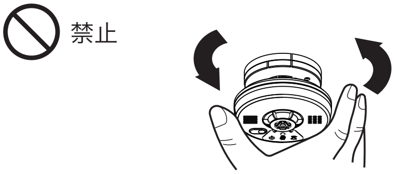
●警報器は取外さないでください。
※警報器の信号が外部機器(インターホンなどの集中監視機器)と接続されている場合は、警報器を取付ベースから取外したりすると、外部機器で警報(故障表示)する場合があります。



⚠注意

●警報器へのポリ袋の取付け、取外しは高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台などをお使いの上、転落、転倒、落下に十分注意して行ってください。

●天井取付型警報器は、警報器を左(反時計方向)に回すとベースから外れ、落下する恐れがあります。



お願い

●ガス警報器への影響を少なくするため、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。また、警報器の真下での噴霧は避けてください。
●ポリ袋で覆っても次のような場合は警報器が発報することがあります。事前に住宅管理者やご近所の方に殺虫剤の使用を、連絡しておいてください。
・ポリ袋と壁面の間に隙間がある場合。また、ポリ袋に破れや穴がある場合。
・部屋の広さに比べて極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用された場合。
・警報器をポリ袋で覆う前に石油系溶剤、アルコール類などを使用されていた場合。
(ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められるため)
・経年変化によりガス検知部が敏感になっている場合。

■ 19.警報時の外部機器の動作

上段　○：連動可能
×：連動不可能
△：警報器アダプター(YS-T60)が必要

下段　警報音が鳴り始めてから各機器が作動するまでの遅延時間です。
この遅延時間は連動機器によって異なります。

警報の種類 / 外部出力信号 / 外部出力線 / 連動機器	警報時の動作	火災	都市ガス	CO	備　考
外部出力信号		連動出力ON	DC12V	DC18V	
外部出力線		赤・灰線	端子		
戸外ブザー（SC-B30）	警報音が鳴ります	×	○	○	都市ガス・CO 警報用
			約45秒		
マイコンメーター	ガスを止めます	△	△	△	
			約45秒		
住宅情報盤	警報表示及び警報音が鳴ります	※1	○	○	
			約45秒		
無線連動装置（TK-W40）	ガスを止めます	×	○	○	
			約60秒		
集中監視盤	警報表示及び警報音が鳴ります	※1	○	○	
		※2	※2		
火災連動入力付警報器	警報表示及び警報音が鳴ります	○	×	×	
		即時			
ストロボライト(SHW-101)	光を発し、警報音が鳴ります	○	△	△	
		即時	約45秒		

※ 1 接続する場合は、販売店または最寄りの東京ガスにご相談ください。
※ 2 機器の設定により、遅延時間が異なります。

⚠注意

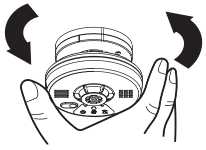
- 外部出力信号は極性がありますので、外部機器と接続される場合はご注意ください。
- 住宅情報盤及び集中監視盤への接続は、各機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づき行ってください。
- 連動機器では、都市ガスとCOの警報は判別できません。住宅情報盤には判別できるものがあります。
- 遅延時間は一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書を参照ください。
- 連動機器は専用品をお使いください(集中監視盤を除く)。
- 外部連動については、販売店または最寄りの東京ガスにご相談ください。

■ 20.警報器のお手入れ方法

⚠注意

●警報器の表面及び取付け部付近の壁面が汚れたりしてお手入れをされる場合は、必ず警報器を反時計方向に回し、止まったところで警報器を下に引いてください。
警報器が取外せます。

❗ 警報器を取外す

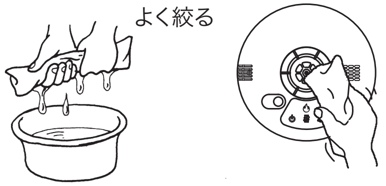


お願い

●お手入れをされる場合は、布を水または石けん水に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

❗ よく絞ってからふく

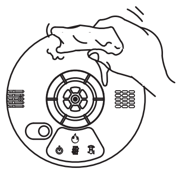
よく絞る



水または石けん水

●お手入れのとき、警報器の内部に水が浸入しないように注意してください。

⊘ 禁止



●警報器のお手入れには中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー及びアルコールは使わないでください。
中性洗剤等を使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく都市ガス警報ランプ(赤ランプ)が点滅したり、警報が止まらないことがあります。

⊘ 禁止

■ 21.アフターサービス

お　願　い

●この警報器の保証期間は取付日から5年とし、保証期間中に故障が起きた場合には無償で正常作動品と交換いたします。ただし、保証書記載の保証の 適用除外の項目に該当する場合はこの限りではありません。保証書を参照ください。

●この警報器の有効期限は、お取付けの5年後です。
有効期限とは警報器の所定の性能を維持できる期限であり、5年を経過したものは、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、新しい警報器とお取替えください。
※有効期限を経過した警報器は、東京ガスが引き取って適切に処理いたします。
東京ガスにお渡しください。

●保証書に取付け年月日および販売店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取付け時にご確認ください。

●保証書は大切に保管してください。

●アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください。

●警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください。

●作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。

●お引越しの場合の取扱い

(1) リース品
リース品は転居先に持っていかないでください。リース料金はガスメーター閉栓(ガス料金の最終検針)の月までご請求し、次月以降は解約となります。
リース警報器は東京ガスまたは指定の販売店が原則 としてガスメーター閉栓時に取外させていただきます。
なお家主の方が契約されている場合は、家主の方にご相談ください。

(2) 現金またはカード払いなどによるお買上げ品
お客さまご自身が東京ガス供給エリアの新住所にお持ちいただいた場合は、 販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください。無償で再設置のうえ、新住所での設置先登録をさせていただきます。

警報器の登録について

この警報器はコンピューターに登録させていただきます。

●この警報器の設置情報(取付年月日、お客さま番号、機器名、設置場所等)は、販売店を通じ東京ガスのコンピューターに登録させていただきます。登録済みの警報器には有効期限(取替予定年月)を記入したラベルを貼付していますので、ご確認ください。また有効期限(取替予定年月)の記入のないラベルは未登録の場合があり ますので、販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください(ラベルははがさないでください)。登録された警報器の有効期限到来時に、東京ガスまたは指定の販売店より期限切れをお知らせしますので、新しいものとお取替えください。なお、 お客さまが転居された場合などには、期限切れのお知らせができないこともあります。

個人情報保護に関する東京ガスの対応について

●警報器に関するお客さまの個人情報は、上記の有効期限経過のお知らせを行うほか、製品の品質向上のための修理点検記録収集やアフターサービス全般のために使用し、それ以外の目的に使用することはございません。

●東京ガスは上記の業務を実施するために、お客さまの個人情報を協力企業(ライフバル各社、エネスタ、エネフィットまたはその他の弊社警報器取扱企業)と共同利用させていただきますが、その場合お客さまの個人情報を安全かつ適切に利用するよう努めます。

●お客さまが上記の個人情報の利用をお認めにならない場合は、お手数ですがその旨お申し出ください。

22.施工される方へのお願い

⚠警告

● 本取扱説明書を熟読の上、指定された方法を遵守して取付けを行ってください。また、火災連動機能を使用する場合は、連動する機器の取扱説明書及び設置工事説明書に基づいて接続してください。	❗ 必ず行う
●警報器を設置する前に、警報器の種類、形式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客さまとよく相談して決めてください。	❗ 必ず行う
●お客さまへ引き渡す際には、必ずお客さま立会いのもとで取扱説明書記載の作動点検を実施してください。 なお、作動不良の場合は交換してください。また外部機器と接続した場合は、外部機器の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検をしてください。	❗ 必ず行う
●取付け・点検終了後に“26. お客さまへのご説明内容”“27. お客さまへの周知事項”をお客さまに説明してください。 ※詳細は44ページを参照ください。	❗ 必ず行う

⚠注意

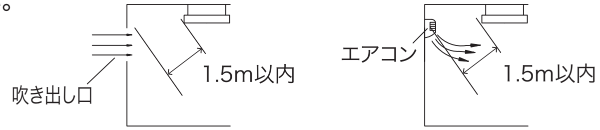
● 取付ける警報器が空気より軽い12A・13Aガス用(火災検知・CO警報機能付)であり、本体に異常のないことを確認してください。	❗ 必ず行う
●警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取扱いには注意してください。	
●有効期限を本体正面の有効期限シールに、お取付日から5年後の西暦年月を記入してください。	❗ 必ず行う
●有効期限を経過して交換した警報器の廃棄処理について ・一般廃棄物として処理を行わないで、産業廃棄物として処理してください。 一般廃棄物として焼却処理した場合、有毒ガスが発生する恐れがある材料が本製品には含まれています。 ・決められた処理ルートがある場合は、それに従って処理してください。	❗ 必ず行う

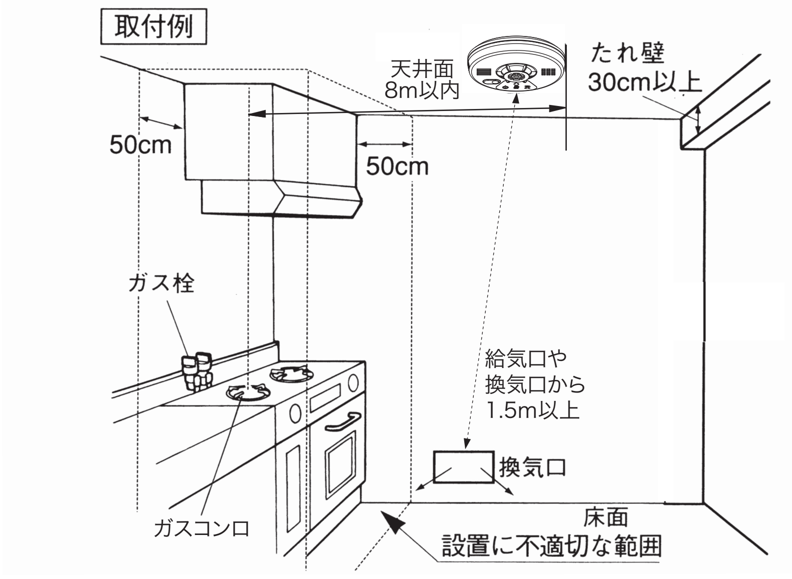
23.取付位置の確認

●取付位置を決めるときには、次のことをよく確認してください。

⚠注意

● 都市ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に設置してください。	必ず行う
● 都市ガスやCOが滞留しやすい位置で、電源ランプの確認がしやすい位置、容易に点検できる場所へ取付けてください。	必ず行う
● 都市ガス、COを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合は、ガス栓）から水平距離8m以内にしてください。	必ず行う
● アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取付けないでください。	禁止
● 換気口等の空気の吹き出し口から1.5m以内には取付けないでください。	禁止





床面積は概ね30㎡以下（部屋が正方形なら対角線は約7.7m以下）
※取付け及び取付位置の移動は、販売店または最寄りの東京ガスにおまかせください。

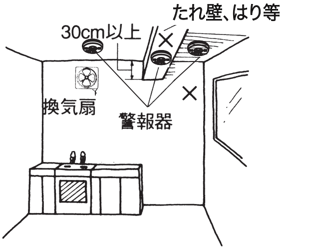
⚠注意

次のような取付け方をされていますと、警報の遅れや誤報、故障などの原因になることがあります。

●換気扇、給気口、ドア付近など風通しのよいところ、すきま風の入るところ
●30㎝以上のたれ壁で区切られているところ
●エアコン等の吹き出し口の近く

禁止

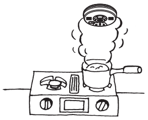
警報が遅れたり検知できないことがあります。



●燃焼器具などの排気、湯気、油煙及び調理用アルコール蒸気が直接かかるところ

禁止

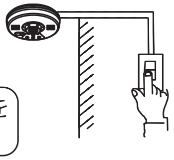
センサーの寿命が短くなったり、誤報の原因になります。



●使用時しか電源を入れないところ(ビルなどの給湯室で、夜間電源を切るところ)

禁止

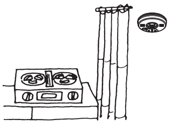
警報器としての機能を果たしません。



●カーテンウォールなどで仕切られるところ

禁止

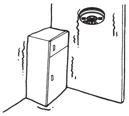
警報が遅れます。



●振動、衝撃の激しいところ

禁止

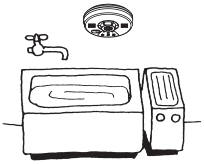
センサー故障の原因になります。



●浴室内や水のかかる場所や水滴のつくところ

禁止

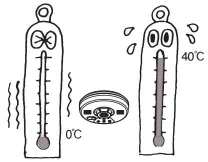
感電や電気的故障の原因になります。



●温度が0℃～40℃の範囲をこえるところ

禁止

警報器としての機能を果たしません。
誤動作の原因になります。



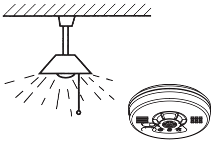
●屋外

禁止

屋外用ではありません。

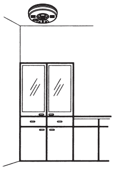
●照明器具等が発生する熱の影響を受けるところ

禁止



●食器棚などの上部

禁止



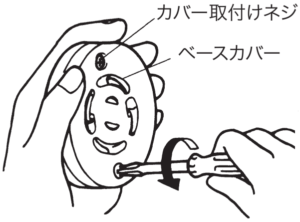
■ 24.取付方法

⚠注意

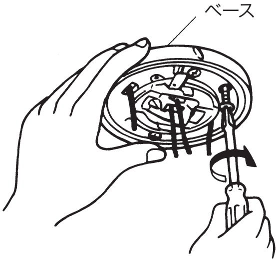
● 取付けには取付ベース(別売品)が必要です。
● 警報器の取付時には、警報器を落とさないよう注意してください。

センサーの断線等で正常に作動しない恐れがあります。

● 取付ベースの取付け



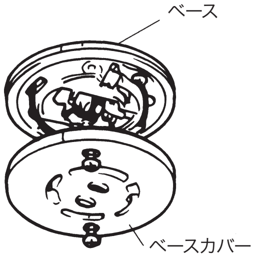
1. 本体からベースを取外し、カバー取付けネジをゆるめてベースカバーを外します。



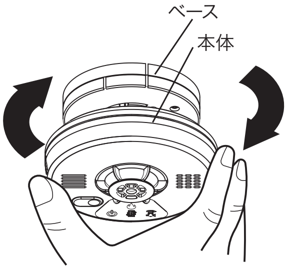
2. ベースを付属の木ネジで天井に取付けます。

⚠注意

警報器の電気工事は専門の電気工事士に依頼してください。
一般の方が工事をすることはできません。



3. 結線完了後ベースカバーを取付けます。



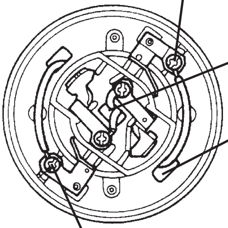
4. 警報器本体をベースに合わせ、止まる位置まで右に回し確実に固定します。

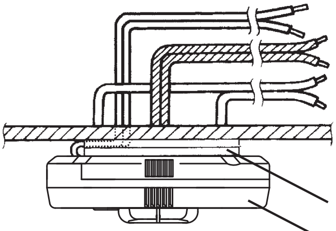
⚠注意

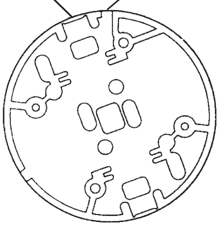
警報器が確実に固定されているかどうかの確認のためもう一度右に回してください。

必ず行う

■配線方法







⚠注意

1. 金属管またはボックス内に電源用配線と外部出力用配線を同一配管される場合、外部出力用配線は600V絶縁電線で線径φ1.25以上のものをご使用ください。

2. 端子は内側が電源(AC100V)用、外側が外部出力用です。
誤配線しますと内部回路が破損しますのでご注意ください。
また電源用配線、ガスもれ・CO警報外部出力用信号線共、極性がありますので、正しく接続してください。

3. 火災警報外部出力信号線(赤・灰)との接続
・ベースのノックアウト部より外部出力用信号線を引出し、火災警報外部出力信号線(赤・灰)と接続してください。

■取付方法

適合ボックス

●JIS C 8340 アウトレットボックス
●JIS C 8340 コンクリートボックス

適合ボックスカバー

●JIS C 8340 丸孔カバー

取付け用部品

●ベース取付け用木ネジ 4× 30・2本

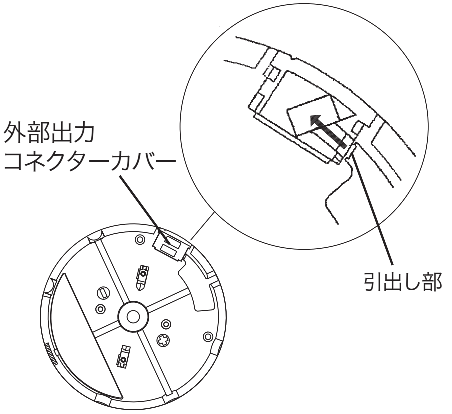
外部機器と接続した場合の注意点及び点検方法

⚠注意

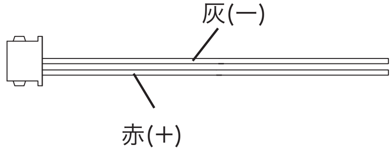
- 外部機器と接続した場合は、外部機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づいて作動点検を実施してください。
- 都市ガス・CO警報外部出力端子は有電圧出力ですので、外部機器と接続する場合は外部機器が有電圧出力を受けられる仕様であるか、また極性は間違いないか等注意してください。

- 火災信号を外部機器に接続する場合。

(1) 外部出力コネクターカバーを外し、本体裏面のリード線引出部をラジオペンチ等を使用して、矢印の方向に折り曲げて切取ってください。

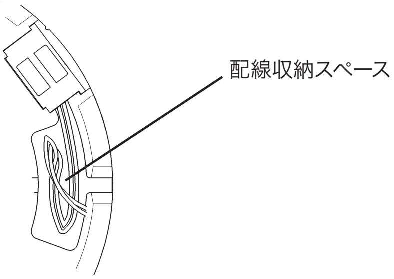


(2) 別売品の接続用リード線を本体のコネクターへしっかりと奥まで差し込んでください。



(3) カバーはケースに確実に取付けてください。

(4) 余剰のリード線は配線収納スペースに入れてください。



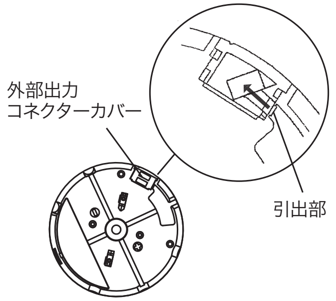
警報器アダプターを使用した場合の火災連動信号接続方法

⚠注意

- 警報器アダプター(別売品)が必要です。
- 警報器アダプターの取付説明書をよくお読みになり、取付け、配線、作動点検を実施してください。

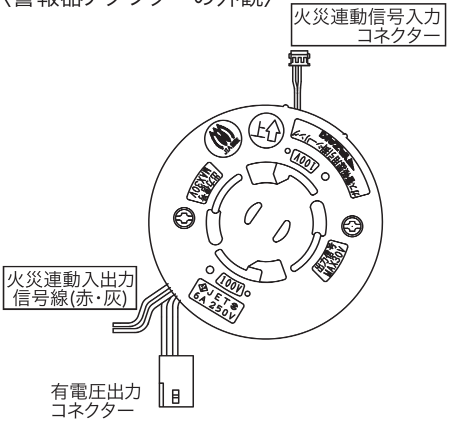
- 火災連動信号を別の火災警報器に接続する場合。

(1) 外部出力コネクターカバーを外し、本体裏面のリード線引出部をラジオペンチ等を使用して、矢印の方向に折り曲げて切取ってください。



(2) 警報器アダプターの「火災連動信号入力コネクター」を警報器のコネクターへしっかりと奥まで差し込んでください。

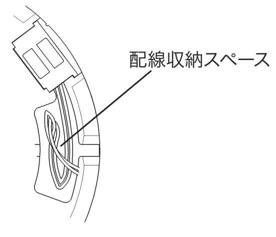
〈警報器アダプターの外観〉



(3) 警報器のカバーはケースに確実に取付けてください。

(4) 余剰のリード線は配線収納スペースに入れてください。

(5) 警報器アダプターの「火災連動入出力信号線(赤・灰)」を別の火災警報器に接続してください。



■ 25.作動点検

お願い

●都市ガス警報、CO警報機能の作動点検時には、ガス採取器(別売品)とガスライター・ガスコンロなど検知対象ガスの炎からガスを採取できるものを用意してください。

従来のアルコールを主成分とした点検ガス及びライター式の点検ガスは使用しないでください。また、ガスライターのガスを直接かけての点検もしないでください。センサーに異常が生じたり、警報時間が長くなる可能性があります。

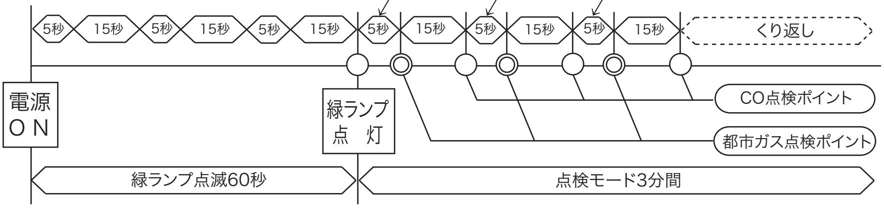
禁止

都市ガス・CO警報点検の方法

電源を入れてから1～4分の間を点検モードとし、CO警報の遅延時間2分を無くして、より点検をしやすくしています。
点検は、この間に実施してください。また、電源を入れてから60秒後電源ランプ(緑)が点滅から点灯に変わった直後の5秒間に点検ガスを注入してください。

〈ガス注入のタイミング〉

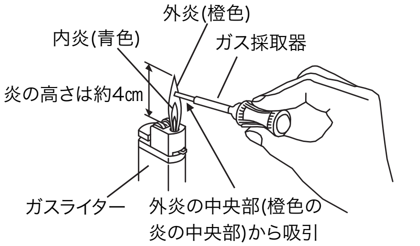
注入タイミング②、③でもできます。

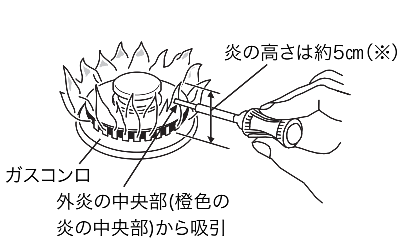


※注入タイミングがずれたり、ガス濃度が低くなったりすると警報にいたらない場合があります。

〈ガス採取方法〉

1. 周囲に引火物などが無いことを確認してからガスライター、またはガスコンロを点火し、炎の高さをガスライターでは約4㎝、ガスコンロでは約5㎝に調整します。炎が小さいと点検ガスを採取しにくくなります。
   ※ガスコンロの種類により、炎の高さを5㎝に調整できない(5㎝未満になってしまう)場合はコンロの火力を最大にしてください。
2. ガス採取器を圧縮し、先端を炎の外炎の中心部(橙色の炎の中心部)へ持っていきます。
3. 約2秒程度かけて、炎の中からガス成分(点検ガス)をゆっくり吸引します。
   終わりましたら速やかにガス採取器をガスライターまたはガスコンロの炎から離して、炎を消してください。





4. ガス採取管の先端は熱くなっているため、そのまま警報器に押し当てると警報器のケースを溶かしたり傷がついたりします。ガスを採取後、必ず30秒以上冷ましてください(熱いまま警報器に当てないでください。警報器の故障・変形の原因となります)。

〈点検〉

1. ガスを採取します。
2. ガス警報器の電源を入れてください。
   電源ランプ(緑)が点滅します。
3. 電源ランプ(緑)が点滅から点灯に変わったタイミングで(前ページ〈ガス注入のタイミング〉参照)、ガス採取器の先端を警報器の点検口にしっかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスを約1秒程度で注入します。
4. ガスを注入してから30秒以内に都市ガス警報、CO警報することを確認してください。
   - 警報は都市ガスとCOの複合警報となりますので赤ランプ及び黄ランプが点灯(フラッシュ)(緑ランプは点灯)し、都市ガス警報音「ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか」とCO警報音「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」を交互に警報します。
     ※ブザー設定にした場合、「ピッピッポッポッ」と「ピッポッピッポッ」を交互に警報します。
   - ガス濃度が低いと黄ランプの点滅(緑ランプは点灯、赤ランプは消灯)のみで、警報しない場合がありますのでその時は、再度警報器の電源を入れ直して、ガス採取方法を確認の上、作動点検を行ってください。
   - 電源を入れてから4分経過後(点検モード終了後)に黄ランプが点滅することがありますが、しばらくすると消灯します。
5. ガス濃度が規定値以下になると、赤ランプ及び黄ランプは消灯します。
   ※ガスの検知ポイントは20秒間隔であるため、ガス濃度が規定値以下になっても最高20秒間警報し続けることがあります。

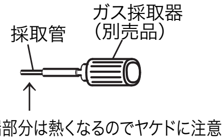
⚠ 警告

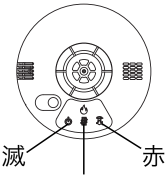
採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。　禁止

⚠ 注意

ガス採取器が破損するので、長時間加熱しないでください。　禁止

炎から取り出した直後のガス採取器の先端は熱くなっていますので注意してください。

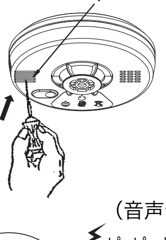


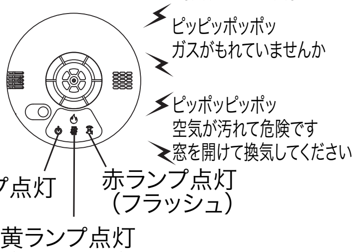


緑ランプが点滅から点灯に変わったら

⇩

ガス注入



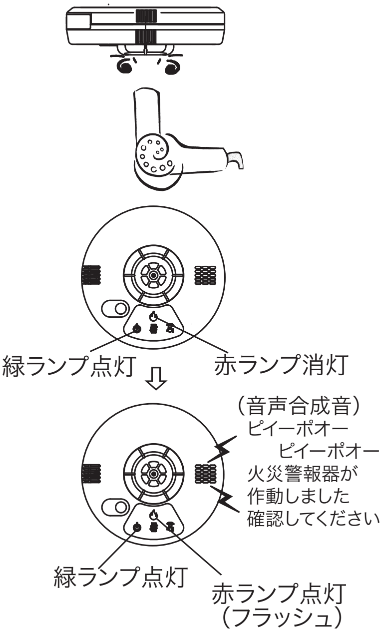


火災警報点検の場合

1. ヘアドライヤーを用意します。必要に応じ延長コードも用意してください。
   (1)ヘアドライヤーを火災検知部の上より当てます。ドライヤーの熱風がガス検知部にかからないようにしてください。
   (2)ドライヤーの電源スイッチをONし熱風を吹きかけます。赤ランプが点灯(フラッシュ)し(緑ランプは点灯)、警報音「ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました確認してください」と警報します。
   ※ブザー設定にした場合、「ピィーポォーピィーポォー」と警報します。
   ※ドライヤーでの点検時、ガスもれ警報する場合がありますが、故障ではありません。

2. 火災検知部周囲の温度が下がると赤ランプが消灯します。

3. 以下の方法でも火災警報点検ができます。
   (1)点検/停止スイッチを約1秒間押して「ピッ」と鳴ったらスイッチから手を離してください。
   (2)火災警報ランプ(赤)、CO警報ランプ(黄)、都市ガス警報ランプ(赤)が点灯(フラッシュ)するとともに警報します。
   (詳細は次のページを参照ください)



⚠ 注意

ドライヤーを離した直後、警報器は熱くなっています。やけどをしないようご注意ください。

ライター等の直火で加熱試験は、行わないでください。機器破損の原因となります。 禁止

⚠ 注意

火災警報に続いて、CO警報と都市ガス警報の動作を示しますが、CO警報や都市ガス警報の作動点検にはなりません。

点検/停止スイッチによる警報ランプと警報音の確認

点検/停止スイッチを操作することによって警報ランプと警報音の確認を行うことができます。

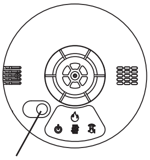
⚠ 注意

CO警報や都市ガス警報の作動点検は、38、39ページにならって実施してください。

点検/停止スイッチを過大な力で押さないでください。
破損する場合があります。

点検/停止スイッチを約1秒間押して「ピッ」と鳴ったらスイッチから手を離してください。
警報ランプと警報音の確認が始まります。

確認時は下記の順序で警報とランプ表示を行います。



点検/停止スイッチ

ステップ	音声内容	ランプ			
		火　災	都市ガス	CO	電　源
1	ピィーポォーピィーポォー 火事です 火事です ●ブザー設定時は、ピィーポォーピィーポォー(連続)	フラッシュ		フラッシュ	点滅
2	ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください ●ブザー設定時は、ピィーポォーピィーポォー(連続)	フラッシュ			点滅
3	ピッピッポッポッ ガスがもれていませんか ●ブザー設定時は、ピッピッポッポッ(連続)		フラッシュ		点滅
4	ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください ●ブザー設定時は、ピッポッピッポッ(連続)			フラッシュ	点滅

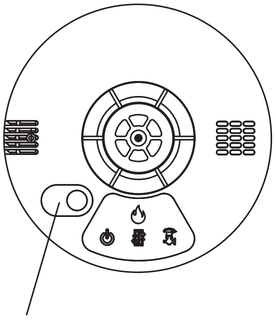
- 各ステップの警報回数は1回ずつです。
- 点検中は電源ランプ(緑)は点滅です。
- 各ステップは約8秒間で切り替わります。
- この点検は初期遅延中及び監視中に行うことができます。
- 外部出力は監視状態です。
- 最後に「ピー」という終了音が鳴ります。

連動点検の場合

次の手順で点検してください。

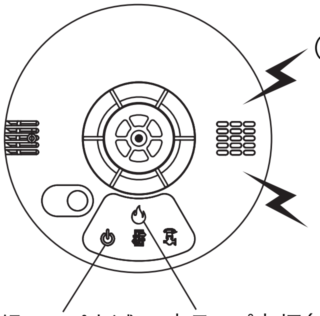
〈電源を入れてから25分以内〉

1. 点検/停止スイッチを3秒以上押して「ピッ」「ピピッ」と鳴ったらスイッチから手を離してください。
   41ページの警報ランプと警報音の確認ができます。
   各警報音を発した後、各警報ランプは点灯(フラッシュ)を続けます。
2. 都市ガス・COの外部出力は、約8秒ごとにDC12V/DC18Vを交互に出力します。
   火災連動出力もONします。
3. 点検/停止スイッチを再度約1秒間押すと(ピーと鳴った後)警報ランプの点灯(フラッシュ)及び外部出力は停止します。そのままでも1分経過すれば、警報ランプの点灯(フラッシュ)及び外部出力は停止します。



〈電源を入れてから25分以上経過後〉

1. 点検/停止スイッチを3秒以上押して「ピッ」「ピピッ」と鳴ったらスイッチから手を離してください。
   ※赤ランプが点灯(フラッシュ)し、「ピィーポォーピィーポォー 火災警報器が作動しました 確認してください」と警報します。
   ※ブザー設定にしてある場合は、「ピィーポォーピィーポォー」と警報します。
2. 同時に火災連動出力がONします。
3. 点検/停止スイッチを再度約1秒間押すと(ピーと鳴った後)赤ランプの点灯(フラッシュ)及び連動出力が停止します。そのままでも1分経過すれば赤ランプの点灯(フラッシュ)及び連動出力が停止します。



他の警報器より火災連動信号が入力された場合

信号を入力すると、火災警報ランプ(赤)が点滅し「ピィーポォーピィーポォー 別の火災警報器が作動しました 確認してください」と警報します。
※ブザー設定にしてある場合は、「ピィーポォーピィーポォー」と警報します。

警報履歴の確認

警報した後で警報内容を確認することができます。
点検/停止スイッチを6秒以上押して「ピッ」「ピピッ」「ピピピッ」と鳴ったらスイッチから手を離してください。
警報ランプと警報音で警報履歴(最新の1回のみ)をお知らせします。

音声内容	ランプ			警報の種類
	火　災	都市ガス	CO	
ガスがもれていませんか		 フラッシュ		都市ガス警報
空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください			 点滅 または フラッシュ	CO警報
火災警報器が作動しました 確認してください	 フラッシュ			火災警報
別の火災警報器が作動しました 確認してください	 点滅			火災連動警報
火事です 火事です	 フラッシュ		 点滅 または フラッシュ	火 災 警 報 と CO警報

●警報履歴は警報解除から7日間保持されますが、警報器の電源をOFFすると消去されます。

26.お客さまへのご説明内容

1. 作動点検結果の説明。
2. 取扱説明書を必ず読んでいただくことと、保証書・取扱説明書の保管のお願い。
3. 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。

(1)火災警報の内容(赤ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と警報時にとるべき措置の説明(12、14、15ページ参照)。
(2)都市ガス警報の内容(赤ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と警報時にとるべき措置の説明(13、16、17ページ参照)。
(3)火災、COの同時警報と警報時にとるべき措置の説明(20ページ参照)。
(4)CO警報の内容(黄ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と警報時にとるべき措置の説明(13、18、19ページ参照)。
(5)都市ガス、COの同時警報と警報時にとるべき措置の説明(21、22ページ参照)。
(6)火災、都市ガス、COの同時警報と警報時にとるべき措置の説明(23ページ参照)。
(7)誤報が発生する場合(9ページ参照)。
(8)警報器に異常が発生した場合(緑ランプ点滅が60秒以上継続した場合)と、とるべき措置の説明(24ページ参照)。
(9)点検/停止スイッチの操作説明。

27.お客さまへの周知事項

お願い

●お客さまに次の事項をご説明のうえ、ご理解を得てください。

1. 保証期間5年。
2. 警報器の有効期間(本体に表示)。
3. 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取扱う。
4. 警報器の移設禁止(移設依頼の連絡先)。
5. 警報器の分解禁止。
6. 引越時の措置。
7. 故障・異常時の連絡先。

必ず行う

TOKYO GAS　共通お問い合わせ先

0570-002211 ※ 弊社お客さまセンターへ転送されます。

● 日立、群馬、熊谷、宇都宮、甲府の各エリアのお客さま、およびPHS等共通お問い合わせ先をご利用できない場合は、下記へお問い合わせください。

ガスご使用場所	お問い合わせ先
千代田・中央・大田・品川・港区	03 (5722) 0111
渋谷・目黒・新宿・中野区	03 (5722) 3111
江東・墨田・台東・文京・荒川区	03 (3842) 0111
葛飾・足立・江戸川区, 草加・八潮・三郷市	03 (3603) 0361
千葉・四街道・八街・印西・八千代・佐倉・白井市	043 (242) 6121
木更津・君津・袖ヶ浦・富津市	0438 (23) 1245
世田谷区, 調布・狛江市	03 (3426) 1111
杉並区	03 (3396) 1111
武蔵野・三鷹市	042 (254) 0111
東久留米・西東京・清瀬市	042 (463) 0111
立川・東村山・小平・国立・多摩・稲城・日野・国分寺・小金井・府中・東大和・所沢市	042 (524) 2111
八王子市	042 (645) 0511
練馬・豊島・北・板橋区, 朝霞・和光・新座市	03 (5394) 7700
さいたま・川口・戸田・鳩ヶ谷・蕨・上尾・蓮田・久喜市, 伊奈・菖蒲・白岡町	048 (651) 1131
横浜市	045 (948) 1100
川崎市	044 (245) 2211
逗子・鎌倉・藤沢市, 葉山町	0466 (26) 0111
横須賀・三浦市	046 (823) 1570
町田・大和・相模原・座間・海老名・綾瀬市, 城山町	042 (742) 6721
茅ヶ崎・平塚・南足柄市, 寒川・大磯・中井・開成町	0463 (22) 2616
竜ヶ崎・牛久・つくば・取手市, 利根・阿見町	0297 (62) 8111
日立市	0294 (22) 4131
高崎・前橋・藤岡市, 榛名町	027 (322) 2523
熊谷・行田・鴻巣・深谷市	048 (522) 5171
宇都宮・真岡市, 上三川・芳賀・高根沢町	028 (634) 1911

● インターネットでのお問い合わせ・カタログのご請求等は、下記までお願いいたします。
「ご家庭のお客さま向けホームページ」 http://home.tokyo-gas.co.jp

東京ガス山梨	
甲府・中央市, 昭和町	055 (253) 1341

■ ご使用に際しての機器に関するお問い合わせは、上記のお問い合わせ先、または販売店にお願いします。

販売店名

製 造 者

矢崎エナジーシステム株式会社

〒431-3312 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 ☎053(925)4511

■ 所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。(平成22年10月現在)

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

2012.06

766831-5-152